

# 桂川っ子

VOL.39

## 「夏休みのお手伝い」

桂川町教育委員会

委員長 青山 堅太郎

今年も7月に入り、暑い夏を迎えました。小・中学校では、今月21日から夏休みです。児童・生徒には、夏休み期間中の仕事として、家事の手伝いがあります。「次郎物語」で有名な下村湖人さんの「心窓ひらく」の中の「お母さんのかんじよう書き」を紹介します。

『進という少年が、学校へ出かけるとき、前夜書きつけた紙片を、お母さんの机の上に置いて学校へ行きました。紙片には次のように書いてありました。請求書 ①市場へのお使い 10円 ②お母さんのあんま 10円 ③お庭のはきちん 10円 ④⑤略 合計 50円 進よりお母さんへ』

進のお母さんは、これを見てニッコリしました。そして、その日の夕食のとき、今朝の請求書と50円が、机の上ののっていました。進は大喜びで、お金を貯金箱に入れました。

その翌朝です。進がご飯を食べようとする、テーブルの上には一枚の紙があります。それはお母さんからの請求書でした。お母さんからの請求書 ①麻疹にかかった看病代 ②学校の本代、ノート代、鉛筆代 ③④⑤略 ⑥進さんが生まれてから、今日までのお世話代 みんなただ 合計ただ お母さんより進さんへ

進は、これを見たとき、胸がいつぱいになって、大粒の涙がもう少しでこぼれそうになりました。そして、これからは、どんなお手伝いをして、もお金はいららないと思いました。大好きなお母さんのためには、自分でできることなら、何でもしてあげようと思ったからです。』

この文書から考えさせられることは、お手伝いの見返りとして、安易にお小遣いを与えるのではなく、長期休学中の規則正しい生活を送らせる。また、親に対する感謝の念を懐かせるよい機会ではないでしょうか。

## 「平成24年度から新学習指導要領実施」

桂川中学校 校長 安永 保之

来年度から、新学習指導要領の完全実施となり、国語・社会・数学・理科・保健体育・英語の授業が1年3年の間で約1割増加します。これは、「詰め込み教育」への転換でなく、次の学習を目指すためです。

- ①各教科において充実した指導事項の学習
- ②つまづきやすい内容の確実な習得を図るための繰り返し学習
- ③知識・技能を活用する学習（観察・実験やレポート作成、論述など）

これからの社会は、知識基盤社会と言われ、子ども達の「生きる力」をより一層育むことが望まれています。本校でも、職場体験や地域貢献活動、挨拶運動、マナー教育に加えて、授業での地域人材活用、PTAと連携して家庭教育・学習の手引作成など、学びと体験等身に付けられるように本校の特色を打ち出しています。

9月12日（東京混声合唱団鑑賞）、10月27日（授業）、11月6日（文化祭）は学校開放日として、地域の皆さまとの交流を計画しておりますので、ご来校をお待ちしております。また、今後とも、本校教育への町民の皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。



### 中学校用教科書の見本を展示

昨年の小学校用に引き続き、今年度も平成24年度から使用する「中学校用教科書」の見本を展示しています。ご自由にご覧いただけますので、お気軽にお越しください。

展示期間 7月31日まで  
展示場所 役場2階 学校教育課前

